



京都大学 大学院 総合生存学館

思修館

令和5(2023)年度入学者
京都大学大学院 総合生存学館(思修館)博士課程[5年一貫制]

学内特別選抜学生募集要項

総合生存学館 アドミッションポリシー

総合生存学館は、総合生存学における課題解決情報を、机上ではなくその問題が起きている現場に即して創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざしています。文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。また、複数教員の指導と助言のもとで研究基礎力を養い、さらに国内外の社会実践で得られた経験知をモデル化して修得していきます。あわせて、顕在化している個々の問題解決にあたるだけでなく、人類や社会システム、地球社会などにおける今日的な問題の本質を理解して、総合生存学に基づく世界観・人間力・社会力をもとに自ら課題を設定し、その解決への営みを通じて、グローバルリーダーとなる人材を育成します。

総合生存学館は、次のような能力、適性、意欲を有する者を求めます。

- ・ 地球規模課題解決のために取り組む研究課題・研究目標を設定できる能力ならびに、研究をやり遂げる意志・能力及び研究を実施するに必要な基礎的能力を有していること。
- ・ 様々な地球規模課題を解決する強い興味と関心を持ち、自らの将来を計画し、決断、実行する力を有しているとともに、社会において多様な価値・システムを創造するようなグローバルリーダーを目指す意欲を有していること。
- ・ グローバルに活躍するための基礎となる語学力・コミュニケーション能力を有していること。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、本年度の入試を募集要項どおりに実施することが難しく、変更せざるを得ない事態も予想されます。受験生の皆様におかれましては、学館ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info>)にて情報を発信いたしますので、必ずご確認くださいようお願いいたします。

令和4(2022)年 7月

本学館に置く課程は、大学院設置基準第4条第3項にいう前期2年及び後期3年の課程に区分しない博士課程で、その標準修業年限は5年です。

本学館では、本学の学部4年生(医学部と薬学部は6年生も可)又は大学院生を対象に、書類審査及び口頭試問による学内特別選抜試験を実施します。

学生募集は4月入学のみ実施しています。10月入学の制度はありません。

1 募集人員

専攻	募集人員
総合生存学専攻	若干名

2 出願資格

次の各号すべてに該当する者

- (1) 本学に在籍する学部生で、令和5(2023)年3月に卒業見込みの者または本学の各研究科に在籍する大学院生(修士課程、専門職学位課程、博士課程、博士後期課程)
- (2) 本学館に在籍する教員と面談のうえ、研究テーマ・研究計画を打ち合わせて、本学館での研究指導により、標準修業年限(5年)で博士学位を取得できる見込みのある者

3 出願手続

出願手続は、指定の期間内に「(1) インターネット出願システムでの出願登録」、「(2) 入学検定料納入」、「(3) 出願書類の提出」を行うことにより完了します。

- (1) インターネット出願システムによる出願登録

インターネット出願システム登録期間

令和4(2022)年 9月21日(水)～10月4日(火) 午後5時まで

※ 京都大学インターネット出願システムトップページ

<https://www.webshutsugan.com/kyoto-u-daigakuin/top/>

- (2) 入学検定料等の納入

入学検定料等の支払いは、下記期日までに必ず行ってください。

詳しい支払い方法については、インターネット出願システムに表示される「支払方法」、または、「出願登録完了のお知らせメール」にも記載されていますので参照ください。

出願登録の際に必要な料金は、入学検定料(30,000円)、支払い手数料(650円)です。
(国費留学生は不要。)

入学検定料の納付期間

令和4(2022)年 9月21日(水)～10月4日(火) まで

- ※ この期間中に、入学検定料の納入を済ませていなければなりません。
- ※ 入学検定料納入後は、登録内容の変更ができませんので、注意してください。
- ※ 入学検定料の返還について

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- (i) 誤って二重に納入した場合
 - (ii) 入学検定料納付後、出願しなかった場合及び出願を受理できなかった場合
- 上記(i)、(ii)の場合は、後日手続きにより全額返還します。

- ※ 入学検定料の免除について

対象となる災害により被災した方で、罹災証明書を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがありますので、令和4(2022)年9月2日(金)までに本学館事務部教務掛へお問い合わせください。なお、申請する方は、支払い方法は「クレジットカード」を仮に選択してください。

「対象となる災害」については以下のウェブサイトをご参照ください。

- ◎ 京都大学「入学検定料の免除について」

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees-exemption>

(3) 出願書類の提出

出願書類受理期間

令和4(2022)年9月29日(木)～10月4日(火)午後5時まで(必着)

提出は、インターネット出願システムの出願登録完了画面からダウンロードした宛名ラベルを市販の封筒(角2サイズ 240mm×332mm)の表面に貼り付け、書留速達郵便(外国からの場合はEMS(国際スピード郵便))として発送してください。直接持参しても、受理しません。

ただし、令和4(2022)年9月29日(木)以前の発信局消印がある書留速達郵便(外国からの場合はEMS(国際スピード郵便))として、期限後に到着した場合でも受理します。

※ インターネット出願登録後、出願書類の到着をもって出願受理としますので注意してください。

【 出 願 書 類 】

注1 出願書類に不備があるもの及び出願書類受付日後に郵送された願書は受理しません。

出願後は、書類に記入した事項の変更は認めません。

注2 出願書類の直筆での記載を要するところは、必ず黒のボールペン又は万年筆で記載してください。

注3 提出された出願書類は返却しません。

①志願票・写真票

インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷してください。

<p>②カラー写真2枚 (縦4cm×横3cm) ※同一の写真であること。</p>	<p>同一のカラー写真(上半身脱帽正面向きで出願前3か月以内に単身で撮影したもの)を<u>出願時に2枚用意</u>してください。 内1枚は上記①写真票に貼り付け、もう1枚を提出してください。 写真の裏面に氏名を記入してください。</p>
<p>③学部の成績証明書及び卒業(見込)証明書</p>	<p>学部長が作成し、厳封したもの。 証明書の氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合は、氏名が変更されたことが確認できる公的証明書(3ヶ月以内発行日付)を添付してください。 大学に編入した者は、編入前の大学等の成績証明書も提出してください。 大学院に在籍している者は大学院の成績証明書及び在学証明書を提出してください。</p>
<p>④指導教員からの推薦書(1通)</p>	<p>指導教員からの推薦書の様式は任意です。(厳封すること。) 推薦書を提出できない場合は、受験者の所属する学部あるいは大学院の教員(教授または准教授)で意見を伺うことができる人の氏名及び連絡先を所定の用紙に記入したものを提出してください。用紙は本学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai)からダウンロードしてください。(A4用紙)</p>
<p>⑤英語のスコア (原本)</p>	<p>令和元(2019)年 10月以降に受験した次の(1)から(6)のいずれかの<u>受験生宛に送付された試験のスコア原本(コピー、受験者自身で印刷したものや大学宛に送付されるものは不可)</u>。 (1) TOEFL-iBT(Test Taker Score Report)の ETS から紙媒体で送付された原本。 <u>ETS から大学に直送される公式スコアレポート(Institutional Score Report)は利用できません。</u> (2) TOEFL-ITP (3) IELTS の Test Report Form アカデミック・モジュールテストのみ認めます。 (4) TOEIC L&R の公式認定証(Official Score Certificate) (5) 実用英語技能検定 (6) 国際連合公用語英語検定試験</p> <p>出願時にスコア原本の提出が間に合わない場合には、入学試験実施日の試験開始前に上記スコアの原本を提出してください。 試験開始前にスコアの原本を提出できない者も、ダウンロードした写しのスコアを提出したうえで受験を認めますが、その場合でもスコア原本を令和4(2022)年10月27日(木)17時(必着)までに提出してください。</p>

	<p>正当な理由なく英語スコア原本を提出しなかった場合は、英語を0点とし、不合格となります。また、入学検定料は返還しません。(5ページ 5選抜方法 を参照のこと)</p> <p><u>上記の試験の試験日からスコアの原本が送付されるまでの期間を見込み、出願者は余裕をもって試験を申し込んでください。</u></p> <p>スコアを2つ以上提出することはできません。</p> <p>アメリカ合衆国及び英連邦王国(Commonwealth realm)*を国籍とする者については、英語スコア原本の提出は不要です。</p> <p>*英連邦王国(Commonwealth realm)とは以下の国です。</p> <p>英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ジャマイカ、バルバドス、バハマ、グレナダ、パプアニューギニア、ソロモン諸島、ツバル、セントルシア、セントビンセント及びグレナディーン諸島、バリーズ、アンティグア・バーブーダ、セントクリストファー・ネイビス</p> <p>英語のスコアは下記を標準としますが、これら以下の点数であっても出願は可能です。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) TOEFL-iBT(MyBest™ スコア):80点 (2) TOEFL-ITP:550点 (3) IELTS:オーバーオール・バンド・スコア6.0 (4) TOEIC:L&R 740点 (5) 実用英語技能検定:準1級 (6) 国際連合公用語英語検定試験:B級
<p>⑥小論文</p>	<p>必ず所定用紙を用いて、次の(1)～(2)について記載してください。</p> <p>なお、日本語又は英語で記載してください。また、所定用紙には事前に面談した本学館に在籍する教員1名の署名が必要です。(本学館に在籍する教員については、本要項8ページの表1・表2・表3を参照のこと)</p> <p>用紙は本学館ホームページ(https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/application-guidelines-gakunai)からダウンロードしてください。(A4用紙)</p> <p>小論文の内容の記載については、手書き不可です。ただし、本学館教員の署名は自署です。文字のフォントサイズは11程度で記載してください。</p> <p>(1)あなたが関心を持っている地球規模課題あるいは社会課題とその解決について記載してください※。さらに、本学館への志望理由及び修了後の進路についてのビジョンを記載してください。</p> <p>※ 回答に含めるべき内容として、その地球規模課題あるいは社会課題に係る学問は何か、これまでに課題解決のためにどのような取り組みが行われたのか、あなた自身がその取り組みをどう評価しているの</p>

	<p>か、あなた自身が考えられる解決策は何か、等を記載してください。 (A4 2枚以内 日本語1,500字以内、英語で記載の場合は600words 以内(参考文献を含まない))</p> <p>(2)本学館で研究したいテーマと研究計画(目的・意義、新規性・独創性、仮説・方法、期待される成果等)を記載してください。必要な場合、本文中に該当論文や著書を引用し、最後に参考文献としてまとめてください。 (A4 3枚以内 日本語2,000字以内、英語で記載の場合は800 words 以内(参考文献を含まない))</p> <p>・上記の字数を超過した場合は減点の対象になります。</p>
⑦受験票送付用切手台紙	インターネット出願システムから印刷した所定の台紙に、344円分の切手を貼ってください。
⑧下記のうちどちらか1点 ・住民票の写 ・在留カード(両面)の写	日本に在住する外国人のみ。市区町村長の発行するもの(在留カードについては地方入国管理官署の発行したもの)。 ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。
⑩国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は、提出してください。

4 受験票

受験票は受験番号を印字したものを送付します。試験実施日当日は、受験票を必ず持参してください。

5 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び試験により行い、総合的に評価します。

(1) 書類審査【小論文、学部の成績*、英語スコア】

*大学院に在籍している者は、学部及び大学院の成績

(2) 試験【口頭試問】

ただし、口頭試問において「否」と判定された場合は、不合格となります。

なお、筆答試験(専門基礎科目)はありません。

試験実施年月日 時 間	試験科目	内 容
令和4(2022)年 10月22日(土) 9時00分～(予定)	口頭試問	口頭試問は日本語で実施するが、必要に応じて英語を使用することがある。

(3) 試験場:京都大学大学院総合生存学館(東一条館)

6 合格者発表

- (1) 令和4(2022)年11月17日(木)午後3時に京都大学大学院総合生存学館(東一条館玄関)に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を学館のホームページに掲載します。

<http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info/>

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。

7 入学料及び授業料 (注:入学時及び在学中に改定されることがあります。)

- (1) 入学料 282,000円
 - (2) 前期分授業料 267,900円(年額535,800円)
- 納付時期等については合格者に通知します。

8 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法及び教育課程改善の検討資料作成のために利用します。
- (4) 出願書類に記載されている個人情報は、入学者について、①教務関係(学籍管理、修学指導、教育課程の改善等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

9 入学希望者の施設見学について

研修施設等の見学を希望される場合は、ホームページ(<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/admissions-info/>)を確認してください。通常、総合生存学館のカリキュラム概要説明(30分~1時間程度)を受けていただいた後、京都大学東一条館、第一・第二研修施設の施設見学(1時間程度)をしていただきます。

10 注意事項

- (1) 障がい等があり受験上若しくは修学にあたって配慮を必要とする者は、協議しますので、令和4(2022)年9月2日(金)までに本学館事務部教務掛にお知らせください。なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、早い時期に申し出てください。事前に申請がないと配慮できない場合があります。
また、出願後に受験上の配慮が必要となった場合には、速やかにお知らせください。なお、直前の申請や申請内容により、希望する配慮が行えない場合があります。
- (2) 出願者には、受験票及び受験に関する注意事項を郵送します。なお、令和4(2022)年10月14日(金)を過ぎても受験票等が到着しない場合は本学館事務部教務掛へ問い合わせてください。
- (3) 出願書類の内容に虚偽事項が発見された場合は、合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。
- (4) 学館ホームページに、入試等に関するFAQを公開していますので、参照してください。
(http://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/faq_list/)

11 入学試験に関する連絡先

〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1 京都大学東一条館
京都大学大学院総合生存学館(思修館) 事務部教務掛
TEL 075-762-2002
E-Mail gsais-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 業務時間は平日8:30～17:15(12:00～13:00を除く)です。

平日のうち、本学創立記念日(6月18日)、夏季一斉休業日(8月第3週)、12月29日～1月3日は事務室が閉室しているため、対応できません。

本学館教員一覧

- ・ 研究について事前に相談する教員は表1・表2・表3から選択してください。
(本要項4ページ[3. 出願書類]. ⑥小論文を参照のこと)

表1:専任教員

氏名	職名	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ
				教育研究活動データベース
イケダ ユウイチ 池田 裕一	教授	データ科学、ネットワーク科学、計算科学	ikedayuichi.2w@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/ikeda/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pN6aW
サイトウ ケイ 齋藤 敬	教授	グリーンケミストリー、サステナブルケミストリー、サーキュラーエコノミー、化学(環境調和高分子)	saito.kei.ly@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/saito/index.html http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/jT3oP
ナガヤマ ヒロアキ 長山 浩章	教授	電力政策、再生可能エネルギー政策、電力事業経営、国際協力	nagayama.hiroaki.3a@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/nagayama/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/bO7iK
ヤマシキ ヨウスケ 山敷 庸亮	教授	地球惑星科学(水資源工学、水環境工学、太陽地球系科学)	yamashiki.yosuke.3u@	http://www.gwrlab.org/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/tL0qH
イアルナゾフ IALNAZOV, ディミター サボフ Dimiters Savov	教授	政治経済学、経済開発、新興国及び発展途上国における再生可能エネルギーへの転換	ialnazov.dimitersavov.8w@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/inalnazof/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mF8mK
カナムラ タカシ 金村 宗	准教授	ファイナンス、エネルギー経済学、金融工学、リスクマネジメント	kanamura.takashi.3u@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/kanamura/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/mY4bW
セキヤマ タカシ 関山 健	准教授	国際政治経済学、環境政治学、法と開発	sekiyama.takashi.2e@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/sekiyamatakehi/index.html http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/pS5pX
チョウ リョウ 趙 亮	准教授	情報学基礎、計算基盤	liang@gsais.	http://aw.gsais.kyoto-u.ac.jp/liang/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/gT9tC
デロシュ DEROCHE マルク・ヘンリ Marc-Henri	准教授	哲学、宗教学、倫理学、仏教学、チベット・ヒマラヤ学	deroche.marchenri.6u@	https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/staff/deroche/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/oW3gJ
ミズモト ケンジ 水本 憲治	准教授	健康科学、医学、社会医学、感染症疫学	mizumoto.kenji.5a@	http://square.umin.ac.jp/kj/kmizumoto.jp.htm http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/hD4fW

表2:特定教員

氏名	職名	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ
				教育研究活動データベース
クワシマ シュウイチロウ 桑島 修一郎	特定教授	イノベーション論、産学連携論、科学技術政策論、X線解析学	kuwajima.shuichiro.3c@	http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/xE7zZ
ドイ タカオ 土井 隆雄	特定教授	有人宇宙学、宇宙工学、流体力学、天文学	doi.takao.8w@	https://www.uss.kyoto-u.ac.jp/humanspace/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/uH8sI

(連絡先に記載のアドレスに、kyoto-u.ac.jp を加えてください。)

表3:協力教員

氏名	職名	所属	研究領域	連絡先 +kyoto-u.ac.jp	教員ホームページ	
					教育研究活動データベース	
アンバシ マサヒト 安橋 正人	特 定 准教授	経済研究所	応用ミクロ経済学、産業組織論、イノベーション経済学、開発経済学	anbasi.masahito.4z@	https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/kC2iG	
イイヨシ トオル 飯吉 透	教 授	高等教育研究開発 推進センター	教育イノベーション、高等教育システム、オープンエデュケーション	iiyoshi.toru.6m@	http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/staff/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/zU4yZ	
イナガキ ノブヤ 稲垣 暢也	教 授	医学研究科	内科学、糖尿病・代謝学、内分泌学、栄養学	inagaki.nobuya.4e@	http://metab-kyoto-u.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/gN2fU	
ウサミ ブンリ 宇佐美 文理	教 授	文学研究科	中国芸術論	usami.bunri.6w@	https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eW5iN	
オホガキ ヒデアキ 大垣 英明	教 授	エネルギー理工学 研究所	加速器物理、自由電子レーザー、放射線計測、核セキュリティ技術、アジア地区でのエネルギー教育と地方部電化	ohgaki.hideaki.2w@	http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/quantum/ohgaki/index.html https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/bC6kN	
カキツカ アキラ 垣塚 彰	教 授	生命科学研究科	難治性疾患の発症機構及び治療法の開発	katsumi.takeshi.6v@	http://www.funcbiol.lif.kyoto-u.ac.jp/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eW0iN	
カツミ タケン 勝見 武	教 授	地球環境学堂	地盤工学、地盤環境工学、地球環境学	katsumi.takeshi.6v@	http://geotech.gee.kyoto-u.ac.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/eY3hE	
カワカミ コウジ 川上 浩司	教 授	医学研究科	社会医学、臨床医学	kawakami.koji.4e@	http://square.umin.ac.jp/kupe/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/vL5iJ	
クマダ タカツネ 熊田 孝恒	教 授	情報学研究科	認知科学、実験心理学、教育心理学	kumada.takatsune.7w@	http://www.genome.ist.i.kyoto-u.ac.jp/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/qO7mI	
サカイ ヤスヨシ 阪井 康能	教 授	農学研究科	農芸化学、応用分子細胞生物学	sakai.yasuyoshi.8x@	http://www.seigyo.kais.kyoto-u.ac.jp/ http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/dA3jL	
ハラ ショウイチロウ 原 正一郎	教 授	東南アジア地域研究 研究所	情報学、デジタルヒューマニティーズ	hara.shoichiro.6r@	https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/organization/staff-2/hara/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/sD4oL	
ムラカミ ユウスケ 村上 勇介	教 授	東南アジア地域研究 研究所	ラテンアメリカ研究、政治学	murakami.yusuke.7e@	https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/organization/staff-2/murakami/ https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/aC3iH	

(連絡先に記載のアドレスに、kyoto-u.ac.jp を加えてください。)

注：協力教員とは、本学館の教育活動をサポートする他研究科及び研究所等に所属する教員です。

学生支援

1. 奨学金等

授業料免除・様々な奨学金に関する情報を提供します。申請にあたっては、学館内で選考の上、所定の手続きを行います。詳しくは教務掛にお尋ねください。

令和3年度以降、毎年総合生存学館3年生の優秀な学生2名に「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」からフェローシップ(研究専念支援金年間180万円と研究費年間30万円)が支給されます。

2. 合宿型研修施設

本学館では、グローバルリーダーに求められる異文化社会におけるリーダーシップ力を育成する教育研究環境づくりを目的として、異文化及び異分野出身の学生が昼夜を分かたず切磋琢磨し交流でき、かつ本学伝統の対話型高等教育研究を実施できる合宿型研修施設を整備しています。この施設は、研究と学習に集中できる日常生活の場として、また熟議や講義のための場として活用します。

研修施設の入居期間は入学年度の4月1日から博士授与学位日の翌日までの、原則休学期間や武者修行・PBRを開始する日の属する年度を除く通算4年を限度とします。

なお、入居者には各居室の光熱水費等の実費及び共益費月 5,000 円を負担していただくこととなります。(共益費の金額は在学中に改定されることがあります。)

3. 長期履修制度

次のいずれかに該当し、長期にわたり修学に相当の影響がある方又はあつた方であつて、課程修了に至る計画的な履修が可能な方は、審査を経て長期履修学生として履修を許可された場合、在籍期間を最長10年とします(休学期間を除く)。制度の詳細については、教務掛にお尋ねください。

- (1)官公庁・企業等に在職している者(給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。)及び自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者で、計画的に長期履修が可能な者
- (2)出産、育児又は親族の介護を行う必要がある者
- (3)身体等に障害を有する者

その他

1. 官公庁・会社等に在職のまま入学を希望する者への注意事項

- (1)入学願書提出に先立ち、研究指導を希望する本学館の専任教員に相談すること
- (2)所属長の発行する入学承諾書(様式随意)を入学手続き時に提出すること
- (3)就業については各自の責任において行うこと